

TOKYO 1964

僕たちのレガシー

一人じゃなくて皆で頑張る
その集大成が歴史を育むんだよ

昭和39年10月9日、後楽園球場で「東京オリンピック前夜祭」が開催されました。水神鼓笛隊の五年生はこの前夜祭に出場し、立派に演奏しました。輝かしい伝統の始まりから53年が経った今、当時の五年生で第十三代PTA会長の赤石様に改めてお話を伺いました。

水神鼓笛隊の始まりとは

私は昭和36年、一年生の三学期に水神小に編入しましてね、水神小には移転と同時にもう鼓笛活動がありました。

辻田先生という音楽の先生が「これからの時代、音楽で水神小学校を盛り上げてゆこう」という意欲に溢れていた先生でした。

でも楽器類はね、種類が少なかったんですよ。大太鼓が一台、シンバル一組、中太鼓二個が男子の担当で小太鼓と鉄琴は全部女子の担当でした。指揮者は男子だけれど、多くの子は縦笛だったんですよ。

前夜祭が決まる前後でしようか、友だちと二人で「格好いい」中太鼓をやらせてくれ」と先生に直訴に行った覚えがあります(笑)。それは叶いませんでしたけれどね。後に先生方やPTA、地域の皆様のご尽力もあり、楽器類やユニフォーム等が揃えられていったとお伺いしています。

前夜祭演奏が決まって

数ヶ月前から、ずいぶん練習した覚えがあります。三曲やったんですよ。なぜ覚えているかと言うと、そのうちの一曲か二曲がこの前夜祭のために新しく水神鼓笛に加わった曲目だったんですよ。一つは『若い力』だったと思います。

『鉄腕アトム』も演奏したんですが、これは鼓笛の定番曲でした。それらをさんざん練習した覚えがありますね。

鼓笛は、音の反響で最前列と最後尾の音がズレてくるんですよ。先生からは「副指揮者をちゃんど見ろ」と言われるんだけど、子どもだから意味がわからない(笑)。耳で聞いて、音を合わせちゃうんです。なんで副指揮者っているのかな、副指揮者って格好いいな、とは思っていましたけれどね(笑)。

音のズレを直す練習をずいぶんやった記憶がありますね。

演奏しての感想

出場したのが五年生全員なら、40名ぐらいで演奏したのかな。18時の前夜祭開演から、わりと早めに演奏したことは覚えてます。

緊張は全くしませんでした。お祭り騒ぎが楽しいばかりで、大役を勤め終わって、興奮して大騒ぎでした。私たちよりも、近所のお母さんたちが「やったね」「よかったね」と盛り上がっていた記憶がありますね。

前夜祭の感動が

ご自身に残したもの

音楽の辻田先生が居らっしゃらなければ、水神鼓笛活動は違ったものになっていたのかもしれないですね。今も



第13代PTA会長 赤石 正次様
鼓笛パート 縦笛 / 昭和41年水神小卒業

バンド活動をしている私にとって、音楽とはもはや趣味を超えた『癒やし』ですが、その原点は楽しい前夜祭と鼓笛活動、そして辻田先生の熱いご指導なのではないかと感じます。

今の水神鼓笛隊にエールを

伝統と歴史がありますので、とにかくそれを継承して頑張ってくださいと思います。

まだ『鉄腕アトム』をやってくれているのにはびっくりしたけれどね(笑)。あの東京オリンピックから50年以上も同じ曲目を続けているって、すごい事じゃないですか？

「お母さん、お父さんだけじゃなくて、おじいさんの時代からやっていると」という水神鼓笛の歴史を、子供たちに話してもらえたらと思いますね。



東京オリンピック前夜祭の水神鼓笛隊

第1回
先生たちの
思い出の1曲

TEACHER'S
MUSIC
GRAFFITI

ミュージック
グラフィティ

柴田先生の
思い出の1曲



『大地讃頌』
中学校三年生での合唱コンクールの課題曲でした。合唱に力を入れている音楽の先生だったため、毎年合唱コンクールは最優秀賞をかけて練習に一生懸命取り組みます。真面目な女子とおふざけ男子のバトルは毎年のことでしたが、いい思い出です。

今は通勤途中にある中学校から合唱コンの練習が聞こえると、楽しかった中学時代を思い出して、元気をもらえます。

石川先生の
思い出の1曲



『STAY GOLD』
Hi-STANDARD

中学生の頃、仲の良い友達どうしでおススメの洋楽のCDを貸し借りするのが密かなマイブームでした。

当時の担当が英語の先生で、その先生が「日本人でも、カッコいいバンドがいるんだぞ」と教えてくれたのがHi-STANDARDで、大人となった今でも大好きなバンドです。

タイトルや歌詞にあるSTAY GOLDのとおり、夢に向かってガムシャラに輝いていた姿を忘れないでいきたいです。